

2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [東浦町立緒川小学校] 担当教諭名 [高橋 直之] (6年 96名)

相手国・地域 [フランス]

海外学校名 [Groupe Scolaire Carlepont] 担当教諭名 [Jean-Marie Lelong]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	図工	味わってみよう和の形	4
	総合的な学習の時間	世界とつながろう	10

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Pleasure & Friendship at the heart of this chain of solidarity
メッセージ (相手と一緒に 絵に込めた想い)	フランスと日本で生まれた友情。お互いこの世界で生きる友達として、直接会ったことはないけれど、わたしたちは友達で、出会えた喜びを胸に、ともに生きていきたい。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 海外旅行や外国の人と関わったことがない子どもでも世界と自分の生活もしくは日本のつながりを考え、フランスに親近感をもつことができた。フランスがニュースで取り上げられると翌日、その話題を話す子が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 時差の問題。やはりスカイプでのやりとりはできなかった。本校の始業時間と最終下校時間は全校で決められているので、そこを動かすことは難しかった。 人数の問題。96人(学年)で一枚の絵を描くのは、構図を考えるのは壮大だが、子ども一人一人がやれることが少なすぎる。 予算の問題。子どもに還す作品でない以上、学年費以外の予算を別で配当して制作費とした。描画材や輸送費が公立小学校でやるには持続不可能な気がした。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 世界への目の向け方は明らかに変わったように思う。世界とのつながりを考えた発言や行動が増えたように思う。異文化を理解しようとする構えをもったり、異文化に対する興味や関心が高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の情勢にきちんと目を向けるようになった。また、外国語でのやりとりは慣れないものだったが、教師もまた努力をすることで世界とのつながりを感じることができた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	8月から教師同士でスカイプで何度か交流を重ね、児童は自己紹介カードを書いて写真をフォーラムにアップした。フランスからは動画が届いた。	フランスの児童が「Hello」と話しかけてくれることや、こちらの写真を見ている様子を画面越しにみて向こうの学校とつながっている実感が持てた様子だった。	総合2
共有 テーマ学習	10月	お互いに、自国の文化について動画や写真で様子を伝え合った。フランスからは有名な絵画など、日本では修学旅行に奈良県に行ったのでその様子を伝えた。	フランスの絵画、芸術が日本のセンスと違うことに気付いた。色の使い方や視点の違いに面白さを感じ、異文化コミュニケーションを実感することができた。	総合2
融合 メッセージ 壁画デザイン	11月	10月に交流したことから、絵の構図を考えた。地球を真ん中に互いが手をつないでいる構図にし、周りにはそれぞれの文化を配置することにした。テーマが決まったのもこの頃。	実際に描くまでは、キャンパスが大きいこともあって、慎重になっていたが、フランスの児童と共同作業を行うことに関してはとても意欲的だった。	総合4
創造 壁画制作	12月	実際に描き始めた。途中の様子をフォーラムにアップしつつ作品の半分を完成させた。その途中でも、折り鶴や空手など日本の文化をフォーラムにアップした。	一人一人が思いをもって描いた。フランスとの共同作業ではあるが、こちらの友達同士の共同作業でもあり、話し合いながら、色を決め、作品を仕上げた。	総合2 図工4
評価 振り返り 自己評価	2月	作品が返ってきた。みんなで作品を見て、感想を伝え合った。	フランスの子の感性が日本のそれと異なること、こちらで描いた部分にさらに加えられていた絵があり、絵に深みが増していたことを実感していた。	※休み時間に行ったので時間数なし。

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入(A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え(5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	相手に伝えるために、日本を深く知ろうとする姿があった。
異文化の理解	A	4	感覚・感性の違いにフォーラムの動画や作品から感じた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	C	2	一部の子は英語で動画を撮影したが、多くの子は日本語でできることにとどまった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3	フランスの文化や言語については、知らないことが多かったので、インターネット等で調べ学習を行った。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	B	5	相手のことを考え、理解しようとする姿があった。特に相手校の児童の肌の色や髪の毛の色の違いから、多様であることはとてもよく理解することができた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	フランスのことを調べるグループ、自国の文化を伝えるグループ、絵の構図を考えるグループに分かれて活動を行った。
学習を追究する意欲	B	4	特に自国の文化を伝える際に、何が自国の文化なのか考え、精選して伝える工夫をした。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	B	4	作品には日本の文化やフランスとのつながりを意識して描くことができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	C	3	それぞれの作品の面白さを感想で伝え合ったが、卒業式シーズンだったこともあり、簡潔に済ませるしか時間が取れなかった。